

2013年5月 キューバ情勢

I 概況

1 内政

- 1日、メーデーを記念して全国でパレードが行われたが、ラウル・カストロ国家評議会議長は昨年同様演説を行わなかった。またフィデル・カストロ前国家評議会議長は不参加。
- 自然人による家電製品の輸入（非販売目的）が一定の条件の下に許可された。
- 6月4日以降、インターネットへのアクセスを提供する公共サービスが拡大されることになった。

2 外交

- 国連人権理事会においてキューバの第16回UPR審査が行われた。
- 米国務省のテロ支援国家リストに再びキューバが含まれた。
- キューバ・ブラジル間で、キューバの港湾インフラを拡張・近代化するプロジェクトに対する融資に関する覚書が署名された。

II 内政

1 メーデー（往電第418号）

1日、「国際労働者の日」を記念して全国各地で集会及びパレードが行われた。ハバナにおける行事ではバルデス・キューバ共産党中央委員会政治局員（兼国家評議会副議長）が演説を行った。ラウル・カストロ国家評議会議長は本行事には参加したものの、昨年同様演説は行わなかった。また、フィデル・カストロ前国家評議会議長は7年連続で不参加。

2 住宅建設等に対する補助金制度の改正（往電第444号）

閣僚評議会は、個人が自費で住居を建設又は改築する場合の補助金上限額の引き上げ及び補助金支給対象の拡大を決定。今次改正により、自費で住居を建設又は改築する場合、右に必要な建築資材の購入又は労賃支払いの補助金限度額が8万ペソ（約3,300ドル）から8万5千ペソ（約3,500ドル）に引き上げられた。また住居の補修を行うための補助金についても、小規模補修の場合は上限額500ペソから5千500ペソ（約228ドル）、大規模補修の場合は上限額1万ペソから1万千ペソ（約450ドル）にそれぞれ増額された。

3 閣僚評議会拡大会合の開催（往電第447号）

10日、閣僚評議会拡大会合が開催され、経済モデルの現代化に重要なテーマに関する分析が行われた他、ラウル議長は、資源の無駄遣いを避ける必要性等を指摘し、その他イスキエルド経済企画大臣等から報告等が行われた。

4 家電輸入制限解除措置（往電第482号）

20日、自然人による家電製品の輸入（非販売目的）が一定の条件の下に許可され、同措置により、エアコン、オーブンレンジ、冷蔵庫、冷凍庫、電気コンロ、食洗機等の家電製品、原動機付自転車及び関連部品の輸入が可能となった。

5 キューバ労働者連合全国評議会第93回会合の開催（往電第500号）

25日にキューバ労働者連合全国評議会（CTC）第93回会合が開催され、本年11月に予定されていたCTC第20回大会が2014年の第一四半期に延期されること等が決まった。

6 情報通信事情（往電第509号）

6月4日以降、インターネットができるインターネット・サロンが全国118箇所に設置され、インターネットへのアクセスを提供する公共サービスが拡大されることになった。料金は、国内アクセス（イントラネット）のみ利用の場合は1時間0.60CUC、国際電子メール及び国内アクセスの場合は1時間1.50CUC、フルサービス（インターネット及びメールの国内外アクセス）の場合は4.50CUC。

III 外交

1 国連人権理事会第16回普遍的・定期的レビュー（UPR）におけるキューバ外相演説（往電第415号）

1日、国連人権理事会における第16回UPR国別報告書の提出に際しブルーノ・ロドリゲス外相は演説を行い、米国の対キューバ経済封鎖は人権侵害であると非難すると共に、キューバは、経済的、社会的及び文化的権利の実現において重要な進展が見られる等述べた。

2 「5人の英雄」の一人のキューバ帰国（往電第421号）

3日、米国司法当局は「5人の英雄」の一人であり4月末よりキューバに一時帰国しているレネ・ゴンサレスに対し、ゴンサレス氏が米国籍を放棄することを条件に、米国内での保護観察処分を終了を待たず、一時帰国中のキューバに残る形でキューバに帰国することを認めると発表した。

3 イスラエルの対シリア空爆に関する外務省非難声明（往電第426号）

6日、キューバ外務省はイスラエルによる対シリア空爆を非難する声明を発出した。

4 グラジアーノ・ダ・シルバFAO事務局長の当国訪問（往電第427号）

(1) 3日、ラウル・カストロ国家評議会議長は当国を訪問中のグラジアーノ・ダ・シルバFAO事務局長と会談し、協力の深化等につき意見交換した。

(2) 1996年にローマにて行われた世界食糧サミットにおいて掲げられた「2015年までに栄養不足人口を半減する」との目標をキューバが達成したことを讃える、グラジアーノ・ダ・シルバ事務局長発フィデル・カストロ前国家評議会議長宛書簡が公表された。

5 対ブラジル外交（往電第434号）

ピメンテル伯開発商工大臣がキューバを実務訪問しラウル・カストロ議長と会談した他、ロドリゲス外務大臣も伯を公式訪問し、ルセーフ大統領及びパトリオッタ外務大臣と会談した。またピメンテル伯開発商工大臣はキューバ訪問中、マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣との間で、キューバの港湾インフラを拡張・近代化するプロジェクトに対する融資に関する覚書に署名した。

6 カレーラ・グアテマラ外相の当国訪問（往電第442号）

9日、当地を公式訪問中のカレーラ・グアテマラ外相はカブリサス閣僚評議会副議長及びロドリゲス外相と会談し、二国間関係や地域統合につき意見交換した。

7 第5回 CELAC 高級実務者会合（往電第443号）

10日～11日当地にて第5回ラ米カリブ諸国共同体（CELAC）調整官会合が開催され、キューバからはモレノ外務次官が出席した。今次会合にて、国際協力に関する作業部会が正式に設立された。次回調整官会合は9月にNY、11月にハバナで行われる予定。

8 森元総理のキューバ訪問（往電第445号）

7日～10日、森元総理がキューバを実務訪問し、ラウル議長やホセ・ラモン・フェルナンデス・キューバ・オリンピック委員会委員長他と会談し、二国間スポーツ交流等につき意見交換した。

9 キューバ・オランダ二国間協力文書の署名（往電第461号）

14日、キューバとオランダ間の貿易、投資、農業、水資源、保健、バイオテクノロジー、文化及びスポーツ分野における交流を含む二国間協力に係る文書がロヘリオ・シエラ外務次官及びKaren Van Ooesterom外務省政務局長によって署名された。

10 ルング・ザンビア外相の当国訪問（往電第468号）

ルング・ザンビア外相は当地を公式訪問し、ラソ人民権力全国議会議長及びロドリゲス外相と会談した他、ラテンアメリカ医学校を視察した。

11 ラモット・ハイチ首相の当国訪問（往電第477号）

15日～16日、ラモット・ハイチ首相は当国を公式訪問し、ディアスカネル国家評議会第一副議長、ラソ人民権力全国議会議長他と会談した。

12 マトヴィエンコ・ロシア連邦院議長の当国訪問（往電第478号）

（1）マトヴィエンコ・ロシア連邦院議長が当国を訪問し、17日にラウル議長と会談した他、二国間議会協力に係る協定が署名された。

（2）マトヴィエンコ議長は、インタビューにおいて、露は、キューバ・露間の債務問題に係る合意の早期批准及び議会の承認を得るため合意の技術的事項を詰めているところであることや、議会間交流に加え科学技術交流や観光も重要であると述べた。

13 デジタルテレビ中国方式試験放送の開始（往電第499号）

6月以降ハバナで中国方式デジタルテレビの試験放送がハバナで実施される予定であることが発表された。試験放送実施地域に設置される機材はキューバ・中国間の合意によって中国政府が寄贈。（注：政府メディアによれば、6月7日からハバナ県15地区の4万5千の住居で試験放送が開始された。）

14 エクアドル大統領就任式：ディアスカネル国家評議会第一副議長の出席及びフィデル・カストロ前国家評議会議長発祝辞（往電第501号）

（1）24日、ディアスカネル国家評議会第一副議長はエクアドル大統領就任式に出席するためエクアドルを訪問し、エスピネル・エクアドル副大統領と会談した。

（2）コレア大統領の再任を祝すフィデル・カストロ前国家評議会議長発コレア大統領宛書簡が公表された。

15 カブリス閣僚評議会副議長のアンゴラ訪問（往電第506号）

17日～25日カブリス閣僚評議会副議長がアンゴラを実務訪問し、ドス・サントス大統領他と会談した。

16 テロ支援国家リストに関する外務省非難声明（往電第523号）

キューバ外務省は、30日に発表された米 국무省の「テロ支援国家リスト」にキューバが再び含まれたことを非難する声明を发出。

17 セントルシア首相の公式訪問（往電第524号）

27日～28日、アンソニー・セントルシア首相がキューバを公式訪問し、ラウル議長他と会談した。

18 要人来訪

（1）グラジアーノ・ダ・シルバ FAO 事務局長（2日～3日）（往電第427号）

実務訪問。ラウル議長と会談。

- (2) エリアス・カスティージョ・ラテンアメリカ議会議長（6日）
ラソ人民権力全国議会議長と会談。
- (3) ピメンテル伯開発商工大臣（6日～7日）（往電第434号）
実務訪問。ラウル議長と会談した他、キューバの港湾インフラを拡張・近代化するプロジェクトに対する融資に関する覚書に署名。
- (4) ピエール・ローラン仏共産党書記（7日～9日）
公式訪問。マチャド党中央委員会第二書記及びラソ人民権力全国議会議長と会談。
- (5) カレーラ・グアテマラ外相（9日）（往電第442号）
公式訪問。カブリサス閣僚評議会副議長、ブルーノ・ロドリゲス外相と会談。
- (6) Karen Van Ooesterom オランダ外務省政務局長（14日）（往電第461号）
実務訪問。貿易、投資、農業、水資源、保健、バイオテクノロジー、文化及びスポーツ分野における交流を含むキューバ・オランダ二国間協力協定が署名された。
- (7) ルング・ザンビア外相（13日～15日）（往電第468号）
公式訪問。ラソ人民権力全国議会議長、ブルーノ・ロドリゲス外相と会談した他、ELAM を視察。
- (8) ラモット・ハイチ首相（15日～16日）（往電第477号）
公式訪問。ディアスカネル国家評議会第一副議長、ラソ人民権力全国議会議長と会談した他、医療、保健、スポーツ及び教育関係者と意見交換を行った。
- (9) マトヴィエンコ・ロシア連邦院議長（17日）（往電第478号及び同第492号）
実務訪問。ラウル議長と会談した他、キューバ・ロシア間議会協力協定に署名。
- (10) アンソニー・セントルシア首相（27日～28日）（往電第524号）
公式訪問。ラウル議長と会談した他、障害児教育施設を訪問。

19 要人往訪

- (1) ブルーノ・ロドリゲス外相のジュネーブ訪問（1日）（往電第415号）
実務訪問。国連人権理事会における第16回UPR国別報告書を提出するため訪問し、演説を行った。
- (2) ブルーノ・ロドリゲス外相のブラジル訪問（6日）（往電第434号）
公式訪問。ルセーフ大統領、パトリオッタ外相と会談。
- (3) カブリサス閣僚評議会副議長のアンゴラ訪問（17日～25日）（往電第506号）
実務訪問。ドス・サントス・アンゴラ大統領、教育大臣、保健大臣、建設・エネルギー大臣及び水資源大臣他と会談。
- (4) ディアスカネル国家評議会第一副議長のエクアドル訪問（23日～24日）（往電第501号）
コレア・エクアドル大統領就任式に出席し、エスピネル・エクアドル副大統領と会談。
- (5) ラソ人民権力全国議会議長のエチオピア訪問（24日～28日）

実務訪問。0AU/AU50周年記念式典に出席し、演説を行った。

(6) モラレス保健大臣のベネズエラ訪問(24日)

ミランダ州を訪問し、当地で協力をを行うキューバ人医師と会談。

(7) ブルーノ・ロドリゲス外相のインドネシア、インド及びロシア外遊(24日~30日)

24日~25日、インドネシアを公式訪問し、ボエディオノ副大統領、ナタレガワ外相他と会談。キューバ・インドネシア二国間文化協力協定及びスポーツ協力に係る覚書が署名された。

26日~28日、インドを公式訪問し、アンサリ副大統領及びクルシード外相と会談。また、CELACにとってインドは優先事項である旨発言。

29日~30日、CELAC拡大トロイカ外相と共にロシアを公式訪問し、CELAC拡大トロイカ・ロシア外相会談を行った。またメドベージェフ露首相及びラヴロフ外相と会談した。

(8) マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣のアルジェリア訪問(27日~31日)

第18回政府間対話に出席するため訪問。セラル首相、メデルシ外相と会談。保健、医薬品及び通信に係る3つの協定及び第18回政府間対話の最終議定書が署名された。

(9) モラレス保健大臣のエクアドル訪問(28日~31日)

実務訪問。第1回キューバ・エクアドル保健に関する科学技術交流に参加するため訪問。